

ようこそ 埼玉の地へ 楽しい3日間を

埼玉県教職員組合 島 ちづる

のびっ子ツアー

福島の子どもたちが埼玉でのびのび3日間



「ようこそ埼玉へ！ いっぱいあそぼう」の横断幕と歌の歓迎で始まった「のびっ子ツアー」（7/30～8/1）は、埼教組が福島高教組の訴えに応えて、放射能被害で外遊びのできない子どもたちを比企に招いた企画です。福島まで親子39人をバスで迎えに行くところから、無事送り届けるころまで、組合員はもちろん未組合員の教職員が総勢60人もボランティアとして参加しました。

三日間のメニューは、都幾川での川遊び、子ども動物自然公園、大平山のハイキング、ブルーベリー摘み……と、比企の自然の中でたっぷり遊べるものばかり。そして宿泊地の国立女性教育会館での工作や夜のレクリエーションでは現地の組合員や青年部が大奮闘しました。

福島の子どもたちは、一日の外遊びは時間で制限、プールも自己責任、除染されない公園では土や石にも触れない……など、苛酷な状況におかれています。埼玉に来て、川遊びで大騒ぎしたり石を拾ったり虫を捕ったりすることが本当に楽しそうで、「子どもの笑顔にこちらも自然と顔がゆるくなっていました」というお母さんのことばにあるように、子どもたちはもちろん、様々な思いを抱えて来たお母さんたちの気持ちにも応えた企画でした。

企画任務をもった スタッフの感想

子どもの笑顔に元気をもらった

似内 翔

3日間ある中で、初日の川遊びに参加しました。

私自身、東北・宮城県の出身であることから、なにか東北のためにできることはないかと考えていた時、この企画を知りました。同じ東北の福島県の子どもたちに夏休みの楽しい思い出をつくってもらいたいと思いました。

実際にのびっ子ツアー・川遊びに参加して、子どもたちは、スゴくひんやりした川の水で気持ちよさそうに遊んでいました。私も川に入り、子どもたちといっしょに水でふれ合うことで、気持ちよく感じられました。

また、子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができ、楽しんでもらえて良かったなあと感じると同時に、私自身もその屈託のない笑顔に元気づけられました。

次につなげて行きたい

鈴木 雅典

私は大学まで福島で過ごし、教員になってから埼玉に来ました。ですから震災のニュースが流れる度に、自分に何かできないかと思いながら毎日を送っていました。そんな時、今回の「のびっ子ツアー」のことを耳にしました。実施が決まり、被災した福島の出身者として福島の子たちが安心して外遊びができるようにと企画してくださった埼教組のみなさんに感謝していますし、埼玉の教員として福島の子どもたちのためにスタッフとして参加することができて本当に嬉しかったです。

私はのびっ子ツアーでは川遊びの担当をしましたが、子どもたちは川に入ると、保護者やスタッフとビーチボールで遊んだり、アメンボを捕ったりして笑顔が絶えませんでした。そして「こんなこと福島ではなかなかできないから。」という何気ない保護者の言葉が耳に残っています。この川遊びは、子どもたちが安心して遊べる場を作ってあげられたことが一番良かったことかなと思います。

今回、のびっ子ツアーは大成功に終わりましたが、福島との関わりを今回だけ

で終わりにするのではなく、この夏休みに福島で教員をしている友だちへのびっ子ツアーの話をしたり福島の話聞いたりして、福島の子どもたちのために次につなげていきたいと思っています。

知ること、感動すること

笹本 育子

実のところ、先生のくせに、レクとかゲームリーダーとか苦手だから、最初は役にたてるか心配でした。でも、少しでも福島の人たちとふれあえればと意を決して(?)参加をきめました。参加して、本当によかった。充実の二日間でした。

「今日は疲れているからレクはおとなしめに」という大人の手想を裏切って、二日目の夜、元気いっぱい体育館にやってきた子どもたち。端から端へ思い切り走り回る姿をみながら、毎日、3時間しか外遊びができない現実がとても悔しかった。移動中のバスの中や、自然公園で、家族の方に福島の生活をお聞きしました。話を聞きながら、つい、涙が出てきそうになりますが、日々をたくましく生きているお母さん、おばあちゃん、子どもたちの前で泣いてはいけないと思いました。

非日常が日常になり、考えることも疲れる現実があるけれど、福島の人たち、子どもたちの幸せのために、知ること、行動することへの思いを強くしたツアーとなりました。

ともに参加した親たちの感想の一部です。

楽しかったです。川遊びが最高でした。ごはんもおいしかったです。下の子が2歳、上が8歳、年の離れた兄弟で、いっしょに参加できる企画がなかなかいなか、とてもありがたい企画でした。(小学生以上のキャンプなどはとても多いが、2〜3歳保護者の企画が少ない現状)。また、小さい子・家族・幅広い年齢で参加できる企画を希望します。一番活動を制限されているのは2〜3歳児のように思います。

親子という枠だけでなく、お友だちといっしょに参加できたことで、自宅にいる時以上に楽しく、そしてリラックスして過ごせたようです。友だちと共有でき

る思い出は最高だと思います。川遊び、外遊びと思いつきり体を動かす子どもたちの姿を見られてうれしかったです。私自身は暑さで少々疲れましたが、3日間は家事からも解放されました!! (次回があるとしたら) 同じ年代の子どもたちと交流したいです。(福島の子どもたちを快く受け入れてくれる仲間たちがいるなら)・・・ただ、福島の子どもたちを特別扱いしないで欲しい。同じ幼児・小学生、中・高生です。友だちになりたいです。

今回の企画を考えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。子どもたちを思う気持ちは親だけでないことを感じました。私たちも頑張ります。子どもたちが自信の持てる人になれるように育てていきたいと思っています。

初めて経験することが多く、子どもは、旅行前からワクワクしていました。期待以上に楽しんだようです。暑くてバテるかな?と、思いましたが、そういうこともなく、120%自然に触れ、体を動かす、とてもよい体験ができました。子どもの意外な面を発見できました。

私も子どもに負けないくらい楽しめました。

した。最近、忙しくて子どもといっしょに十分遊んでいなかったなので、良い夏休みの思い出になりました。

子どもだけのツアーも良いのですが、今回のような親子ふれあいのツアーは数が少ないので、もっとあったらいいと思います(登山・キャンプなど)。

たくさんさんのスタッフのみなさんにお世話になり、感謝しています。ありがとうございます。ゲームなど、今後、子ども会や学童クラブに役立てたいと思います。

(子どもは)楽しんでいました。泳ぐの大好き、アスレチック大好き、歩くの大好きで、今回の内容に満足しています。夜のレクも毎回汗をかきながら笑顔で部屋に帰ってきて、話をしてくれました。川遊びやハイキングなど、福島では禁止や制限されていることを思いっきりさせてあげられて、親としてとてもうれしい気持ちでいっぱいです。体力が落ちてくる子どもたちですが、毎日元気いっぱい楽しんで遊ぶ姿を見ることができて、良かったです。

親がバテるなか、先生方にはたくさん遊んでいただいて、ありがとうございます

した。

ふだんはいつも制限付きの遊びになってしまうので、何も気にせず全力で遊ぶことができました。疲れ果てるまで遊びました。川遊びができて大喜びでした。

埼玉の先生方に本当によくしていただき、サポートしていただき、娘たちといろいろな体験ができました。ありがとうございます。私も30年ぶりの川遊び、動物園のコアラ、ブルーベリー摘みなど初めての体験ができ、楽しかったです。

私の住む福島市は、山や川など自然の中で思いっきり遊ばせません。やはり、放射能を気にしないで、自然の中で子どもたちをのびのび遊ばせたいです。

たくさん先生方に支えていただき、楽しく貴重な体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。このツアーに参加できてよかったです。子どもたちの生き生きとした笑顔をたくさん見ることができたのが、母としての喜びでした。本当にありがとうございます。お世話になりました。福島に戻ってまたがんばります!!

体を使って遊べ、大自然にもふれるこ

とができ、とても楽しめました。(子どもは)リースのおみやげがともうれしそうです。小さい子どもも大満足のツアーでした。子どもの笑顔に、こちらも自然と顔がゆるくなっていました。先生方の企画はとても楽しく、子どもたちもたくさん「初めての体験」をし、夏の思い出ができたことをうれしく思います。

普段は別れて生活しているので、時々けんかしながらも仲良く過ごしました。虫探しに夢中になっている三女を見て、震災前は昆虫の自由研究をやっていたことを思い出しました。川遊びや動物園での動物との触れあいが良かったようです。

草むらには近づかないようにしているので、川遊びの時に草の匂いを久しぶりにかぎました。森林浴も久しぶりです。3日目の朝、高2の長女が三女とセミ探しに行ってくれました。福島ではいつもダメと言っていることを、まさに「のびのび」出来ました。

丸木美術館にも送迎していただき、ありがとうございます。「原発はゆつくり燃える原爆」とは先見の明ですね。

小中の先生方の周到な準備に驚きまし

た。どこでもスタッフの数が多くて、完全に万全の体制をとって下さったことがよくわかりました。ありがとうございます。福島を離れられないけど、被曝を防ぐには県外に出るしかありません。福島の子どもたち(と大人も)への支援、これからもお願いします。

